

2017～2018 年度 国際ロータリーテーマ「ロータリー：変化をもたらす」

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2017～2018年度 スローガン

「温故知新 - 先人に学びロータリーを楽しもう」

第31回（通算1667回）2018年4月24日

本日の例会

- | | |
|---------------------|----------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶 | 〈6〉 メークアップ報告 |
| 〈2〉 ロータリーソング「我等の生業」 | 〈7〉 委員会報告 |
| 〈3〉 ビジター紹介 | 〈8〉 ニコニコBOX 報告 |
| 〈4〉 幹事報告 | 〈9〉 閉会点鐘 |
| 〈5〉 出席状況報告 | |

本日の卓話

本日の卓話 〈4/24〉

「戦後ジャズ・ヴォーカル風雲録 ～終戦からロカビリー登場前夜まで」

「Jazz Japan」編集長 みもり たかふみ
三森 隆文 氏

次週の例会 〈5/1〉 例会休会日

次回の卓話 〈5/8〉 「野球一筋の人生」

野球指導者 池田 重喜 氏

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2018年4月17日 第30回(通算1666回)
開会点鐘 白石会長 地下1階「平安の間」
*ゲスト紹介 2名 白洲信哉氏(卓話講師)/大塚花子さん(ピアノ奏者)
*ビジター紹介 4名 林 弘之様・山下正治様(東京城北 RC)/豊田正司様・鳴島 忍様(東京御苑 RC)
出席 29名 欠席 6名 (免除者 2名)
出席率 87.87% 補正出席率(3/27) 69.69%

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- ① 地区青少年交換委員会より2019年夏に来日学生のホストクラブをお願いするので、受け入れ準備をお願いしますとの事です。
- ② 米山奨学会よりハイライトよねやま 217月号が事務局に届いております。
- ③ 先日開催された地区研修協議会のホストクラブ東京練馬中央RCよりお礼状が届いております。

◆◆◆ ニコニコBOX報告 ◆◆◆

鳴島 忍様(東京御苑 RC):例会参加できて、光栄です。ニコニコ。
川松会員:妻への誕生日のお花、及び結婚記念日の花、ありがとうございました。
小林会員:白洲信哉様、本日はご多忙のところ卓話にお越し下さりまして誠に有難うございます。宜しく願い致します。
白石会員:白洲先生、卓話楽しみにしております。先日、京都の酒粋会出席の皆様、お疲れ様でした。又、やりましょう。ニコニコと
前田会員:13年皆勤ありがとうございます。御座居ます。在席20年目ですけど・・・?
佐野会員:白洲さん、本日の卓話楽しみにしています。よろしく!
橋本会員:①白洲先生、本日の卓話よろしく願い致します。②京都での酒粋会参加の皆様、お疲れ様でした。

今週の合計 7件 30,000円
今期の累計 967,682円

◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



「美を求める心」 白洲信哉氏



小林会員より白洲氏の御紹介がありました

こんにちは。私は毎年やっている事が違うので、先生と呼ばれるのは困ってしまいます。
本日は、古美術のファンの集いかと思ったら、そうでもないようで。しかも、このホテルは細川政権の時に銃撃(事件)があったホテルで、それ以来こないようにしていました。来てみてそれを思い出しました。
本日の「美を求める心」という言葉は、母方の祖父の小林秀雄が平易に書いた文章で、日ごろ使わせていただいています。
美術というのは、そんなに特別な事ではありません。美術は、歴史の積み重ねで、昔使っていた物です。正倉院の琵琶にも傷がついているが、それは、使っていたのです。茶碗なども使っていた。普通は使うと壊れるから困る。しかし、日本では、金継ぎ、呼び継ぎのように、沢山の破片をつないで一つにする。つまり、つかって、美を楽しむのが日本の文化。古美術をあつかうというのは、日常使えるもの、使っているもので、それが、古美術商のいいところ。
美術館では触れないので、使うことを考えない。小林秀雄曰く「言葉が美術の邪魔をする」美術はスポーツと同じ。感動するためにみるもの。国宝

だからとか、そういう知識はいらない。大切な「見る」という事をしなくなる。

パネルで仕切られた美術館は感動しない。

今年は明治150年ということで、いろいろな催しもあります。

展覧会にいくと、美術品に出展が書いてあって、実は古美術商が持っているものが多い。日本の場合は特殊で、正倉院の物でも東大寺の物でも、民間にあたりする。刀剣も非常に狭い世界です。「美を楽しむには」その一番は、「何が好きか」。有名無名は関係ない。なぜか有名だと人が集まる。阿修羅像の展覧会には80万人が来た。でも阿修羅像は見ようと思えばいつでも見られるはず。なんでも、最初に知識が来るのがよくない。祖父の小林の言葉で、「道に花がある。感動する。しかし、それが董だと知ると、感動が消える。」言葉や知識が感動を消す。

展覧会に行き、感動する。感動して、まず目も鍛えて先に進む。

白洲正子は、骨董好きで、古美術業界とは家どうしの付き合いがあった。ただ、孫が4人いたが、美術系は自分だけだった。その白洲正子が人生最期に買ったのが「徳利」。「粉引の徳利」。朝鮮時代の焼き物です。

朝鮮は隣の国。でも、国宝の喜左衛門を作ったのは朝鮮。曜変天目は世界に4つしかなく、そのうち3つが日本にあってすべて国宝。でもそれらが作られたのは中国。

日本のいいところは、いい物は大事にして別に国などにこだわっていない。ペルシャの物なども日本に残っているが、もうイランにはない。「粉引」は白い焼き物。利休時代に日本にきた。これはほぼ大名家にしか残っていない。ともかく数が少ないので、祖母はみないで買った。「徳利」はお酒を注ぐための道具。お酒が飲めない祖母は、毎晩、その「徳利」と寝ていた。

うん千万円もする物と一緒に寝る。それも使うということ。手にふれる。くちびるにふれる。そんな風にして楽しむ。

明治150年、この国は消費で経済がまわる。だが、美術は消費されない。美術品をもっている人は一時預かり。過去から預かり未来に渡す。そういう役割。

金継ぎのように修復を重ねる事で日本は文化をつくってきた。

日本の物は修復することが前提。掛け軸も屏風も、いつの日か、たとえば500年後などに剥がす事を前提としている。

しかし、日本の文化に対する現在の予算はかなりやばい。韓国の半分くらいしかない。

使う事で美術は守られてきた。祖母は「徳利」を愛していた。物には魂があるのだというのが日本の特徴。日本は歴史的にもとてもよい環境なので、先人が培ってきた物などに向き合ってもらいたい。

もう一人の祖父、白洲次郎の話もします。

祖父はベントレーに乗っていた。今も使っていて、わくいさんが持っている。1920年代、日本にベントレーが3000台あり、1000台が現存していて、誰が持っているかもわかっている。物を大事にするという意味では、美術品も車も同じ。感動したら買って、子や孫に渡していつまでももらいたい。

【編集・記/会報委員会】

◆◇◆ 先週の例会から ◆◇◆



2018年度米山奨学生の世話クラブ委嘱状と
阿部会員へのカウンセラーの委嘱状がR米山記念奨学会小沢理事長より届きました



13年の前田会員と8年の白石会長へ
皆出席表彰記念品の授与



3 月度ニコニコ大賞の賞状が
松林副会長より白石会長へ



城北 RC、御苑 RC から 4 名のビジターの方が
お越しくださいました



◆◆◆ 5月の例会・卓話予定 ◆◆◆

1 日	例会休会日
8 日	「野球一筋の人生」 野球指導者(元プロ野球選手) 池田重樹氏
15 日	「青少年奉仕月間に因み(仮)」 ローテックス
22 日	「演題未定」 元女子プロレスラー ブル中野氏
29 日	例会休会日

新ロータリークラブ創立
東京丸の内ロータリークラブ

東京お茶の水 RC をスポンサークラブとして
第 2580 地区中央分区、東京丸の内 RC が
2018 年 2 月 26 日 RI より加盟認証されました。
5 月 28 日東京ステーションホテルにて
認証伝達式が執り行われます。
第 2580 地区の RC 数は 70RC となります。

東京麹町 RC 創立 50 周年記念式典

6 月 11 日ホテルニューオータニに於いて
東京麹町 RC の創立 50 周年の記念式典が
開催されます。

—事務局からのお知らせとお願い—

- * 例会欠席の場合は、前日までに事務局にご連絡下さい。
- * 2018-19 年度「クラブの目標および活動計画書」原稿の提出期日は 5 月 22 日 となっております。よろしく願い致します。

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会長 白石 正 副会長 松林 茂

幹事 橋本 国彦 会報委員長 阿部 亮介

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com

http://www.tokyocentralpark-rc.com/